



第2部 個別テーマ「人材確保・育成」の意見交換

北九州市の雇用情勢



就業人口の動向 約40万人（R2年国勢調査）

- R2年の就業人口は、400,010人で、5年前より15,082人減少（▲3.6%）
【内訳】男性：13,236人減少（▲5.8%） 女性：1,846人減少（▲1.0%）
※就業人口のピーク 約46万人（昭和45年国勢調査）

増加・減少業種TOP5

業種別	H27年	R2年		増減数	
	総数	総数	総数	男	女
医療、福祉	65,567	67,924	2,357	598	1,759
サービス業	28,094	29,184	1,090	292	798
教育、学習支援業	18,942	19,178	236	-91	327
学術研究、専門・技術サービス業	11,769	11,836	67	-283	350
不動産業、物品賃貸業	8,058	8,096	38	-169	207

業種別	H27年	R2年		増減数	
	総数	総数	総数	男	女
製造業	61,957	57,986	-3,971	-3,004	-967
卸売業、小売業	67,588	63,869	-3,719	-1,916	-1,803
分類不能の産業	17,181	13,787	-3,394	-2,464	-930
生活関連サービス業、娯楽業	14,683	13,022	-1,661	-713	-948
宿泊業、飲食サービス業	22,984	21,328	-1,656	-390	-1,266

【R2とH27の5年間比較】

全体で
▲1万5千人

特に25～44歳の減少が顕著
▲2万8千人

ミドル、シニア世代が代替として
45～54歳 +5千人
70～79歳 +1万人

北九州市の雇用情勢



北九州市における年間就業者数（推定値）

約23,000人 $\left(\begin{array}{l} \text{新卒採用者} : 3,000\text{人} \\ \text{転職者} : 20,000\text{人} \end{array} \right)$

就業者数：40万人×転職率：4.8%＝約2万人

※転職率：転職者数：328万人÷就業者数：6,738万人
出典：総務省 労働力調査2023

【施設別内訳】	ハローワーク	：約10,000人
	民間サービス（推計）	：約10,000人
	市の就業支援施設	：約3,000人



2

北九州市の雇用情勢



ハローワーク就職状況

有効求人倍率 1.08倍（2024年8月）
（有効求人数1.97万人÷求職者数1.82万人）

年間1万人
〔常用 5千人〕
〔パート 5千人〕

就職率30%

〔 八幡HW 0.77 〕
〔 小倉HW 1.43 〕
西低・東高の傾向



一方で、業種間のミスマッチ

建設業、製造業、介護 3～5倍
事務 0.4倍、情報通信 1.1倍

建設業 製造業 介護業



3～5倍

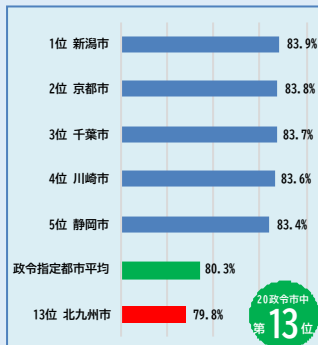
3

北九州市の雇用情勢



女性・シニア・外国人の就業率

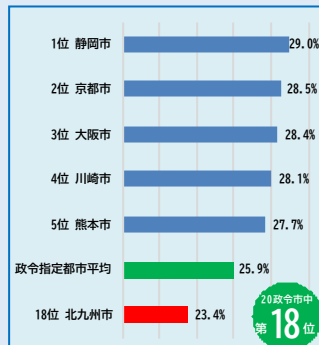
女性(25～44歳)の就業率(R4)



総務省「就業構造基本調査」

<北九州市>
79.8% = 就業者71,400人 ÷ 総数89,500人

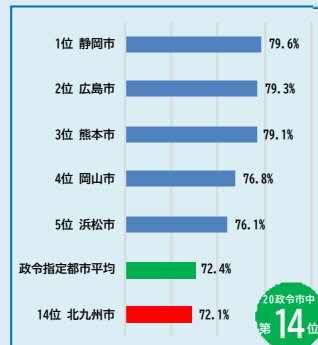
シニア(65歳以上)の就業率(R2)



総務省「国勢調査」

<北九州市>
23.4% = 就業者62,136人 ÷ 総数264,981人
※総数は就業状態「不詳」を除く

外国人(15～64歳)の就業率(R2)



総務省「国勢調査」

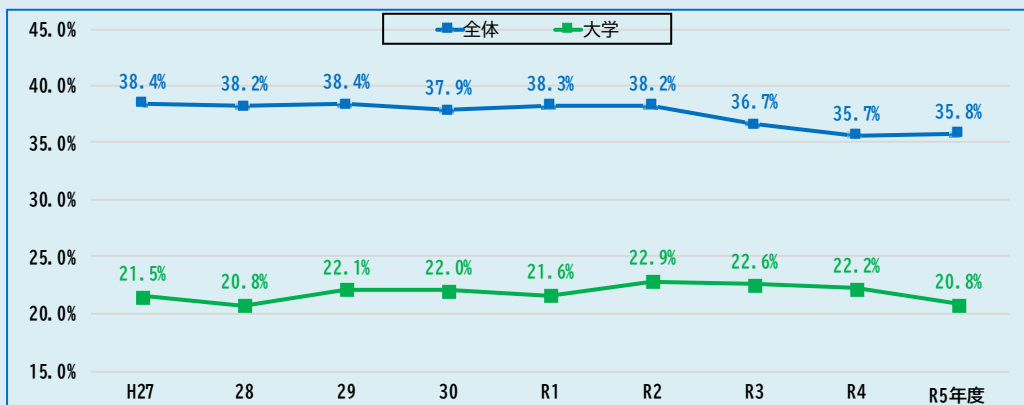
<北九州市>
72.1% = 就業者4,280人 ÷ 総数5,936人
※総数は就業状態「不詳」を除く

女性、シニア、外国人の就業率は政令市下位

北九州市の雇用情勢



北九州地域における新卒学生の地元就職率 (H27▶R5)



※「全体」は大学、短大、高専、専門学校、高校の合計

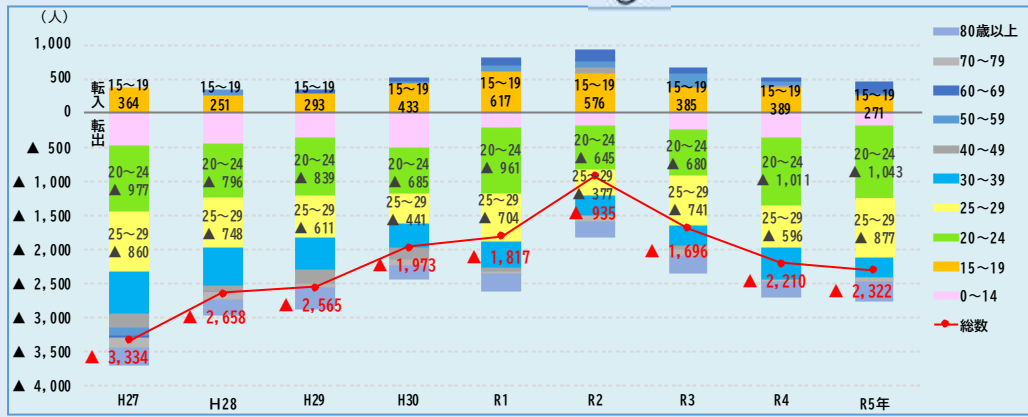
北九州市作成

新卒学生の地元就職率は約36～38%、大学生に限ると約21～23%で推移

北九州市の雇用情勢



年代別の社会動態推移（日本人）（H27▶R5）



北九州市作成

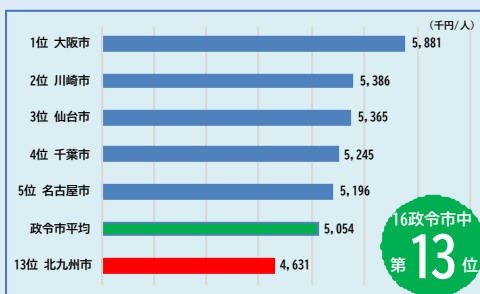
20代（大学卒業後）を中心に、人口減少（約▲2千人）がみられ、若い世代が就職を機に市外へ転出する状況が続いている

北九州市の雇用情勢



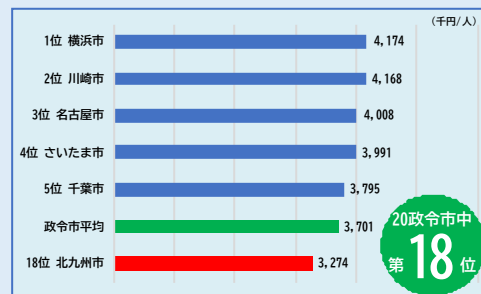
雇用者報酬・課税所得

北九州市の雇用者一人あたりの雇用者報酬（R2）



内閣府「県民経済計算」

北九州市の納税義務者一人あたりの課税所得（R5）



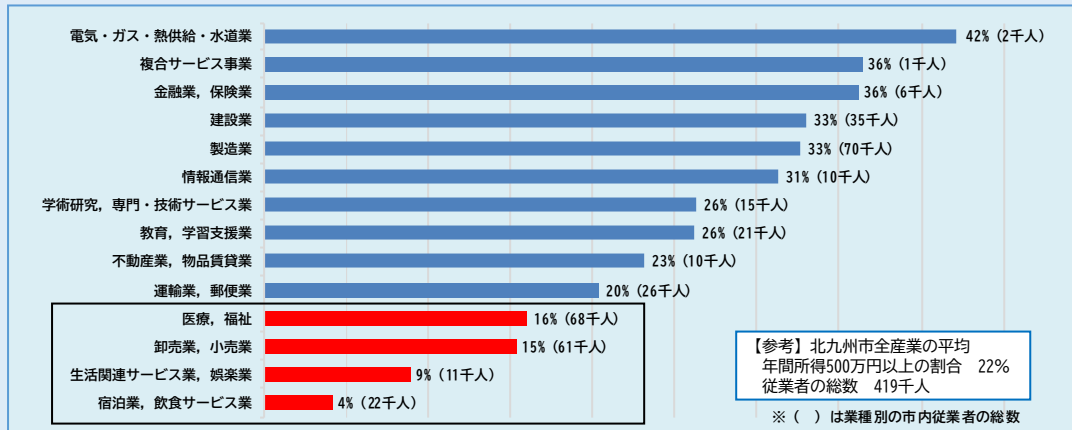
総務省「市町村税課税状況等の調べ」

北九州市の雇用者一人あたりの雇用者報酬（給与・社会保険料等）、納税義務者一人あたりの課税所得は政令指定都市下位

北九州市の雇用情勢



北九州市の従業者の業種別所得（年間所得500万円以上の割合）（R4）



参考：国税庁「民間給与実態統計調査」 平均年収（全国R4）：458万円

総務省「就業構造基本調査」

北九州市の業種別所得分布（年間所得500万円以上）をみると、従業者数の多い医療・福祉、卸売・小売業、サービス業等は所得は低い

北九州市の雇用情勢



雇用動向調査について

- 実施主体：産業経済局 雇用・産業人材政策課
- 調査開始：平成14年度から実施（令和5年度が22回目）
- 調査方法：郵送 または Webによるアンケート調査
- 調査項目：全30問
- 調査の目的

市内事業所の雇用動向調査（従業員数、採用状況等）を調査・分析し、今後の雇用政策の基礎資料とし、関係機関に情報提供する。

○調査対象・調査期間

市内の従業員20人以上の民営事業所（約4,500事業所）から無作為に抽出した1,500事業所。毎年1月1日を基準日とし、1～2月に実施。

○回収結果（R6年1月実施分）

配布数：1,500件、回収数：676件、回収率：45.1%

北九州市の雇用情勢

Kitakyushu
Action!

若者の定着状況

○新卒採用（事業所の割合）

R5年1月 **38.4%** ⇒ R6年1月 **29.1%** (▲**9.3pt**) (参考：R2年1月 32.3%)

○3年以内離職率

R5年1月 **26.4%** ⇒ R6年1月 **26.3%** (▲**0.1pt**) (参考：R2年1月 24.9%)

多様な人材の活用状況

▶ 長期的には少しずつ増加傾向

○高齢者の採用（事業所の割合）

R5年1月 **42.8%** ⇒ R6年1月 **41.9%** (▲**0.9pt**) (参考：R2年1月 36.6%)

○外国人の採用（事業所の割合）

R5年1月 **19.6%** ⇒ R6年1月 **18.0%** (▲**1.6pt**) (参考：R2年1月 14.3%)

北九州市「雇用動向調査」 10

北九州市の雇用情勢

Kitakyushu
Action!

企業の人材確保

○従業員の過不足DI（不足－過剰）

R5年1月 **61.7pt** ⇒ R6年1月 **67.1pt** (+**5.4pt**) (参考：R2年1月 50.2%)

○副業人材の受入れ（事業所の割合）

市：**22.6%** ⇔ 全国：**37.7%** (全国比▲**15.1pt**)

雇用の質の向上

○不本意非正規の割合

H29年 **14.0%** ⇒ R4年 **10.2%** (▲**3.8pt**)

北九州市「雇用動向調査」
日本経済団体連合会「2022年副業・兼業に関するアンケート調査結果」
総務省「就業構造基本調査」

北九州市のこれまでの取組

Kitakyushu
Action!

若者・学生の地元就職促進

○職業観の醸成

- ・ゆめみらいワーク (H27～)



○企業の情報発信

- ・インターンシップ(H27～)
- ・企業見学バスツアー(H26以前～)
- ・就職情報サイト運営(H26～)



○マッチング等

- ・合同会社説明会(H26以前～)
- ・奨学金返還支援 (募集：H29～R3 交付：R1～R5)



12

北九州市のこれまでの取組

Kitakyushu
Action!

UIターン応援プロジェクト

○UIターン応援オフィス転職相談



○転職フェアへの参加



○帰省時期の企業交流イベント



年**200**人マッチング

13

北九州市のこれまでの取組



国連携による就労支援

○若者ワークプラザ



年900人
マッチング

○ウーマンワークカフェ



年600人
マッチング

○高齢者就業支援センター



年1,000人マッチング

年**2,500**人マッチング

北九州市のこれまでの取組



民間リソースの活用

○民間求人サイト掲載支援



年200人マッチング

○リクルート社連携協定



年200人マッチング目標

年**200**人マッチング

北九州市のこれまでの取組

就職氷河期世代・リスキリング

○就職氷河期世代の正規雇用化支援



○リスキリング（IT技術の学びなおし）



年**100**人マッチング

北九州市のこれまでの取組

就業支援施設での就職実績内訳（TOP 3）

○若者ワークプラザ

（R5年度実績 935人）

順位	業種	人数（％）
1位	「医療、福祉」	237人（約25％）
2位	「サービス業」	141人（約15％）
3位	「製造業」	121人（約13％）

○高齢者就業支援センター

（R5年度実績 1,096人）

順位	業種	人数（％）
1位	「サービス業」	431人（約39％）
2位	「医療、福祉」	197人（約18％）
3位	「卸売業、小売業」	135人（約12％）

○ウーマンワークカフェ

北九州

（R5年度実績 624人）

順位	業種	人数（％）
1位	「医療、福祉」	285人（約46％）
2位	「卸売業、小売業」	40人（約6％）
3位	「宿泊業、飲食サービス業」	36人（約6％）

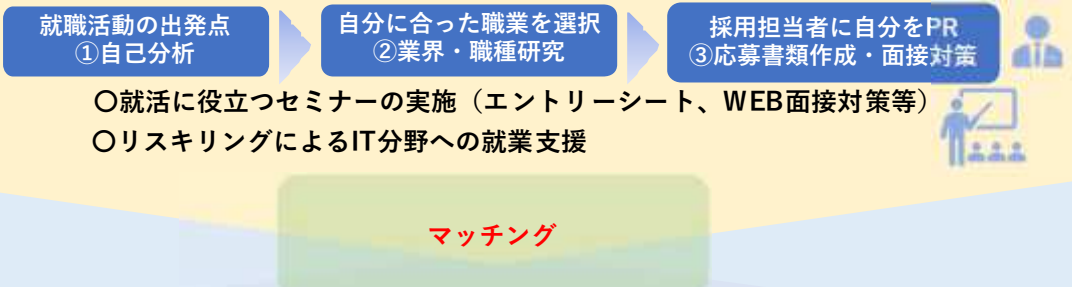
※「医療、福祉」には保育士・保育所支援センターの125人が含まれる。

北九州市のこれまでの取組



就業支援施設の特徴

1 専門カウンセラーによる就職活動を伴走サポート



2 企業の採用支援

- 採用や人材定着に関するコンサルティング・アドバイス
- 地元企業（人事担当者）との交流会
- 職場体験 等

北九州市のこれまでの取組






就業支援実績

これまでの取組により、年間約**3,000人**が就業

人手不足業界への労働参加や移動に寄与!!

北九州市の業種別就業人口（R2国勢調査）

5年間で医療、介護等の就業人口が**約3,600人**増加

	「医療、福祉」	+2,400人	} <u>+3,640人</u>
	「サービス業」 (労働者派遣業、清掃業、修理業等)	+1,000人	
	「教育、学習支援業」	+ 240人	

意見交換

- 論点① 人手不足業種への労働参加・移動が進んだが、
所得向上につながっていないのではないか
- 論点② 若者の地元就職促進策は、大学生などの
地元就職率の向上に寄与しているのか
- 論点③ 女性、シニア向けのマッチング主体の就業支援策は
就業率の向上に寄与しているのか